

CANalyzerバージョン7.6

ECUおよびネットワーク用解析ツール

製品の概要

- > データトラフィックのモニター、解析、生成が簡単
- > 直観的な操作
- > フィルター、ジェネレーター、リプレイなどの機能ブロックは、ユーザー固有の解析方法に合わせた設定が可能
- > 測定のログ記録はオフライン解析時にリプレイが可能
- > CAPLを使用したプログラミング機能

CANalyzerは、分散システムにおけるECU通信のための汎用解析ツールです。モニターや解析といった機能に加え、CAN、LIN、MOST、FlexRayネットワークに対し、簡単にデータトラフィックを送信することもできます。その強力な基本機能とユーザープログラミング性により、シンプルなネットワーク解析から複雑なアプリケーションでの特殊な問題の解決に至るまで、すべてのニーズにお応えします。解析および評価にはグラフィックとテキストベースの機能を利用できます。

CANalyzerのグレード

- > CANalyzer pro
pro (Professional) 版では、すべての機能および拡張機能を無制限に利用できます。このグレードは、バストラフィックの簡単なモニターから、マルチバスシステムの複雑な解析や刺激入力、テストまで、すべての用途に対応しています。
- > CANalyzer exp
exp (Expert) 版は、あらゆる標準的用途に対応しており、CAPLプログラムの作成および実行以外のすべての機能および拡張機能を無制限に利用できます。

> CANalyzer fun

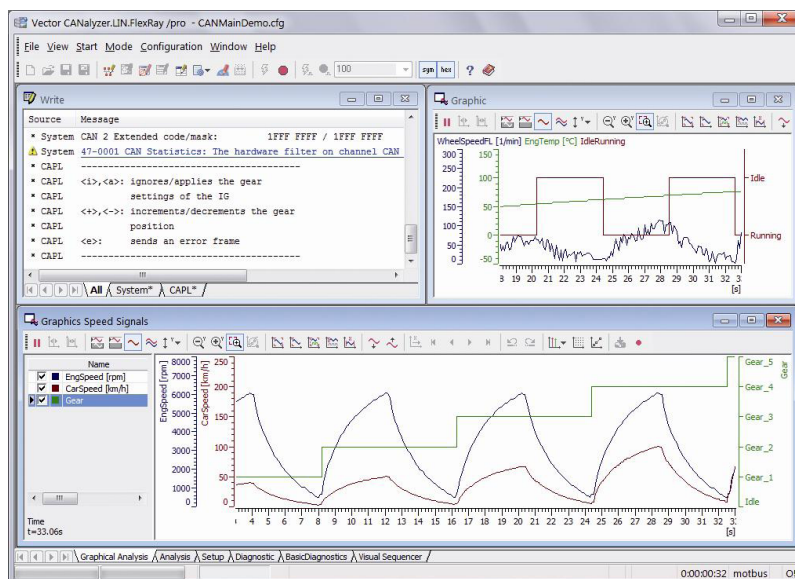
fun (Fundamental) 版は、簡単な解析タスクに最適で、それに関するインタラクティブな標準機能はすべて利用できます。プログラミング機能や診断機能、ユーザー制御パネルは利用できません (表示パネルは利用可能)。

サポートしているバスシステムとプロトコル、オプション

- > バスシステム：CAN、LIN、MOST、FlexRay、Ethernet、無線LAN、J1708
- > プロトコル：J1939、J1587、NMEA 2000、IP、CANopen、ARINC 810/812/825/826、CANaerospace
*これ以外のプロトコルについてはご相談ください。
- > オプションSCOPE

ハードウェアインターフェイス

CANalyzerは、ベクターが提供するすべてのバスシステム用インターフェイスをサポートしています。サポートされるハードウェアインターフェイスの詳細は、「ハードウェアインターフェイスおよびデータロガー」カタログをご覧ください。



CANシステム解析のための標準的なCANalyzerコンフィギュレーション

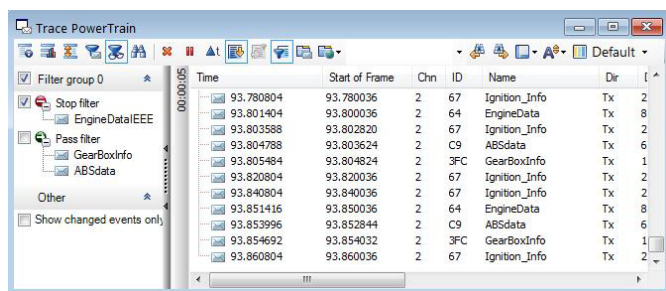
バージョン7.6の新機能

- > AUTOSAR System Description Network Explorerにて通信関連オブジェクト専用ビューを提供
- > 新規オプション製品として、欧州のITS規格Car2xの車両間、車両とインフラ間の通信解析機能を提供
- > OBD II診断テスターを統合
- > 標準診断記述ファイルにてKWP2000とUDSの診断機能を全面的にサポート
- > トレースWindowにて、データ変更イベントやイベント用コメントをハイライト表示
- > シンボル名の修飾が必要なシグナルや変数名の表示設定を変更可能

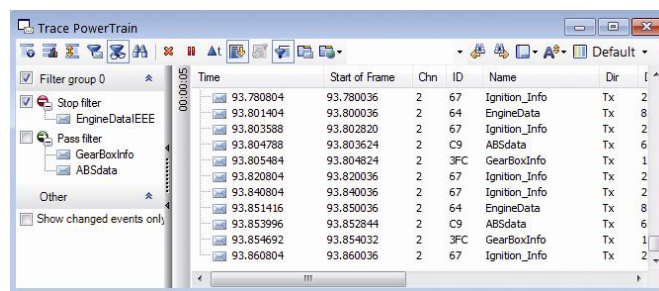
**CANalyzerに関する情報**

www.vector-japan.co.jp/canalyzerにて、製品の詳細情報、動画、テクニカルアーティクルなどをご覧いただけます。

3/37



イベントの一覧表示を行うためのトレースWindow



コマンドシーケンスをグラフィカルに作成できるビジュアルシーケンサー

※記述されている内容は予告無く変更されることがあります。(発行日：2011年10月7日)

ベクター・ジャパン株式会社 (東京本社) TEL: 03-5769-6980 (名古屋支社) TEL: 052-238-5020
 Email: sales@jp.vector.com URL: <http://www.vector-japan.co.jp/>